

——部を漢字（送りがないがある場合は送りがないも）になおし横に書きなさい。

(1219)	(1217)	(1215)	(1213)	(1211)	(1209)	(1207)	(1205)	(1203)	(1201)
凝る インテリアにこる	閑静 かんせいな住宅街	隠蔽 不正問題をいんぺいする	猛烈 もうれつな風と大雨におそわれる	泊める 友人を家にとめる	江戸 えど時代のとのさま 殿様	奪う やる気をうばう言葉	炊く ごはんをたく	趣 古くおもむきのある駅	腫れる ねんざした足首がはれる
(1220)	(1218)	(1216)	(1214)	(1212)	(1210)	(1208)	(1206)	(1204)	(1202)
通信網 消防救急の無線つうしんもう	幅 はばの広い道路	癒やす 心をいやす	猛獣 ネコ科のもうじゅう	償う 罪をつぐなう	化粧 けしょうがこい 濃い	煩惱 ぼんのうに打ち勝つ	荒廃 戦争でこうはいした街	細菌 さいきんによる食中毒	機嫌 きげんが良い

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1239)	(1237)	(1235)	(1233)	(1231)	(1229)	(1227)	(1225)	(1223)	(1221)		
軟らかく 煮る	だいこんをやわらかくにする	甚大 被害	じんだいなひがい	霜 しもが降りる	喪 もに服する	泥炭地	でいたんちを開発する	水筒 すいとうに麦茶を入れる	侮る 敵をあなどる	赴く 興味のおもむくままに行動する	悪霊 あくりょうにとりつかれる
(1240)	(1238)	(1236)	(1234)	(1232)	(1230)	(1228)	(1226)	(1224)	(1222)		
縁 ふちなしメガネ	越す 友人の家で年をこす	語彙 ごいの豊富な人	形骸化 けいがいかした制度	狭める 文書の行間をせばめる	嘆かわしい 状況	白髪 染め しらがぞめの専用シャンプー	大阪府 おおさかふにある国立大学	鈍い 運動神経がにぶい	斜め ななめ前の席		

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1259)	(1257)	(1255)	(1253)	(1251)	(1249)	(1247)	(1245)	(1243)	(1241)
玄関 飾る	裾 スカートのスそ	床 掛け軸(掛軸)	斑点 ヒョウの体表のはんてん	弥生 やよい時代	陰謀 企てる	掌握 地域一帯をしようあくする	悔やむ 祖父の死をくやむ	偉大 いだいな画家	洗淨 三角フラスコをせんじょうする
(1260)	(1258)	(1256)	(1254)	(1252)	(1250)	(1248)	(1246)	(1244)	(1242)
浮かべる ゆずを湯船にうかべる	沈む 悲しみにしずむ	懲りない 何度失敗してもこりない	憎らしい にくらしい態度	虎 遭遇 密林でとらにそうぐうする	逝った 四十才の若さでいった先生をしのぶ	諦観 ていかんの境地に達する	賭博 摘発 野球とばくがてきはつされる	揺さぶられる 心がゆさぶられる	幻滅 本性を知ってげんめつする

—— 部を漢字（送りがない場合）は送りがないも）になおし横に書きなさい。

(1279)	(1277)	(1275)	(1273)	(1271)	(1269)	(1267)	(1265)	(1263)	(1261)
致す 不徳のいたすところ	絡んだ フェンスにからんだバラ	雷 かみなりが鳴る	探偵 依頼 たんていに調査をいらいする	端数 はすうを切り上げる	請け 大会社の下うけ工場	込める 相手をやりこめる	掲げる 目標をかかげる	頑張り 褒める 教え子のがんばりをほめる	貨幣 鑄造 かへいをちゅうぞうする
(1280)	(1278)	(1276)	(1274)	(1272)	(1270)	(1268)	(1266)	(1264)	(1262)
来賓 挨拶 らいひんのあいさつ	鍵盤 けんばんハーモニカで演奏する	甘やかす 子どもをあまやかす	汗 湿った あせでしめった下着	遣い 荒い 金づかいが荒い	忌み 嫌われて 村人からいみきらわれている	隔たり 認識にへだたりがある	誓約書 押印 せいやくしょに記入おういんする	情緒 異国じょうちよあふれる町	弾む ボールがはずむ

——部を漢字(送りがない場合)は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1299)	(1297)	(1295)	(1293)	(1291)	(1289)	(1287)	(1285)	(1283)	(1281)
驚かせる 周囲をおどろかせる	影響 及ぶ 周辺にえいきょうがおよぶ	詰まる 仕事に行きづまる	壊す 建物をこわす	哀れ あわれな話	帰依 仏にきえする	怪しまれる 周りの人にあやしまれる	飢えて 愛情にうえている	封建的 ほうけんてきな考え方	透けて 中身がすけて見える
(1300)	(1298)	(1296)	(1294)	(1292)	(1290)	(1288)	(1286)	(1284)	(1282)
跡 雪の上に残る足あと	惜しみ 負けおしみを言う	舟運 しゅううんによって栄えた港町	甲 かん高い声	倒れる 木がたおれる	追及 逃れる 責任のついきゅうをのがれる	漏り 雨もりを修理する	詳細 連絡 しょうさいは追ってれんらくする	鹿 かの子編みのセーター	互い たがいに声をかけ合う

——部を漢字(送りがない場合)は送りがないも)になおし横に書きなさい。

(1319)	(1317)	(1315)	(1313)	(1311)	(1309)	(1307)	(1305)	(1303)	(1301)
契約 けいやくをていけつする 締結	旋回 飛行機がせんかいする	召し お客様がめし上がる料理	湖沼 水田やこしょうに生息する水鳥	沈める 海の底にしずめる	気泡 きぼうが入った美しいガラス	憎悪 抱く ぞうおの念をいだく	瘦 そう身のための運動と食事制限	親戚 実家にしんせきが集まる	鋳物 鉄瓶 いもののでつびんで湯をわかす
(1320)	(1318)	(1316)	(1314)	(1312)	(1310)	(1308)	(1306)	(1304)	(1302)
揺らぐ 決心がゆらぐ	腫瘍 胃のしゅようを切除する	秀でる 一芸にひいでる	法曹 ほうそう界の大物が集う弁護団	爽やか さわやかな風	釣(り) 沖 つり船がおきに出る	焦土 街一面がしょうどと化する	鐘 響き かねの音がひびきわたる	挟まる ドアにかばんがはさまる	海峡 要塞 かいきょうに築かれたようさい

——部を漢字（送りがながある場合は送りがなも）になおし横に書きなさい。

(1339)	(1337)	(1335)	(1333)	(1331)	(1329)	(1327)	(1325)	(1323)	(1321)
詳しく くわしく説明する	蛇 へびにかまれる	塞ぐ 穴をふさぐ	賢い かしこい人	崩壊 バブル景気がほうかいする	壁 剥げる かべのペンキがはげる	土壇場 どたんばで約束をキャンセルする	更に さらに使いやすくなった	肝臓 かんぞうの病気	超越 時代をちようえつする作家
(1340)	(1338)	(1336)	(1334)	(1332)	(1330)	(1328)	(1326)	(1324)	(1322)
雇用 奨励 若者のこようをしょうれいする	離れる 現場をはなれる	足袋 履く たびをはく	双方 そうほうの合意により解約する	譲渡 株式をじょうとする	超える 十万円をこえる額	潜る 海にもぐる	身震い 寒さにみぶるいする	道端 咲く みちばたにさく花	請う 許しをこう

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1359)	(1357)	(1355)	(1353)	(1351)	(1349)	(1347)	(1345)	(1343)	(1341)
贈る はなむけの言葉をおくる	奥義 茶道のおうぎを極める	凸凹 でこぼこした道路	窃盗犯 起訴 せつとうはんとしてきそされる	焦げ パンが黒こげになる	腫らす 泣いて目をはらす	刺さる とげがささる	洪水 浸水 こうずいで家がしんすいする	呪文 じゅもんを唱える	更ける 夜がふける
(1360)	(1358)	(1356)	(1354)	(1352)	(1350)	(1348)	(1346)	(1344)	(1342)
冗談 じょうだんが通じない	吐露 真情をとろする	固唾 かたずをのんで見守る	覆面 締まり ふくめんパトカーによる取りしまり	罵声 ばせいを浴びせる	脱げる サンダルがぬげる	貢ぐ 愛人にみつぐ	煩わされる 形式的な手続きにわずらわされる	競艇 きょうてい選手のユニフォーム	霜害 じゃがいもがそうがいにあう

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1379)	(1377)	(1375)	(1373)	(1371)	(1369)	(1367)	(1365)	(1363)	(1361)
懲罰 ちようばつで降格となる	寄贈 卒業記念にきぞうする品	錠剤 ビタミンBのじょうざい	高尚 話題がこうしょうすぎて理解できない	籠もる 自分の部屋にこもる	絡まる 糸がからまる	翻す 約束をひるがえす	覆る 判決がくつがえる	脂肌 毛穴が目立つあぶらぎったはだ	傾く 建物がかたむく
(1380)	(1378)	(1376)	(1374)	(1372)	(1370)	(1368)	(1366)	(1364)	(1362)
脚 テーブルのあしが折れる	脊椎麻酔 盲腸 せきついますいでもうちょうの手術を受ける	硬く 態度が急にかたくなる	該当 項目 がいとうするこうもくを丸で囲む	間違い 嘲笑 人のまちがいをちようしょうする	清澄 せいちような山の空気	薦める 親のすすめる人とお見合いする	丈 スカートのたけを短くする	荷揚げ タンカーから原油をにあげする	愛猫 与える あいびょうにあたえるキャットフード

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1399)	(1397)	(1395)	(1393)	(1391)	(1389)	(1387)	(1385)	(1383)	(1381)
押さえる 要点をおさえる	為替 外国かわせの取引	洗濯物 乾く せんとくものがかわく	緩やか ゆるやかな下り坂	上旬 五月じょうじゆんの平均気温	恨めしい あいにくの天気がうらめしい	渋る 行事への参加をしぶる	施主 注文住宅のせしゆ	肩 触れる かたにそつとふれる	充てる 将来の生活費にあてる貯金
(1400)	(1398)	(1396)	(1394)	(1392)	(1390)	(1388)	(1386)	(1384)	(1382)
虚空 こくうを見つめる	紡績 綿をぼうせきする機械	偏狭 へんきょうな性格	恐れない 失敗をおそれない	後悔 自分の発言をこうかいする	雰囲気 醸し 独特なふんいきをかもし出す	数珠 合掌 じゆずを手にかがっしょう礼拝する	酌み 酒をくみ交わす	卸 和食材のおろし問屋	俺 おれと旅にでよう

— 部を漢字（送りがない場合は送りがないも）になおし横に書きなさい。

(1419)	(1417)	(1415)	(1413)	(1411)	(1409)	(1407)	(1405)	(1403)	(1401)
柄 ひしゃくのえを持つ	罰 ばち当たりなことをする	爆発 不満がばくはつする	賢明 早く相談したほうがけんめいだ	官吏 中国のかんり登用試験	離れる その場からはなれる	袖口 綻びる そでぐちがほころびる	鍛冶屋 城下町の大通りにあるかじや	埋蔵 ガスや原油のまいごう量	屋敷 脅かす お化けやしきでお客をおどかす
(1420)	(1418)	(1416)	(1414)	(1412)	(1410)	(1408)	(1406)	(1404)	(1402)
稼働 順調にかどうしている新システム	継ぐ 父の経営する会社をつぐ	舌鼓 海の幸にしたつづみを打つ	寂 日本の侘・さびの美意識	湿原 鶴 北海道のしつげんに生息するつる	朕 『ちんは国家なり』	重鎮 政界のじゅうちん	嘲る 弱い相手をあざける	惜敗 一点差でせきはいする	尾 猫 おの短いねこ

——部を漢字(送りがない場合)は送りがないも)になおし横に書きなさい。

(1439)	(1437)	(1435)	(1433)	(1431)	(1429)	(1427)	(1425)	(1423)	(1421)
露 葉の上にきらめく朝つゆ	浄瑠璃 四百年の歴史をもつ人形じょうり	憂鬱 約束を思い出しゆううつになる	殴打 頭をおうだする	記憶喪失 事故できおくそうしつになる	阻む 連勝をはばむ	お坊ちゃん 世間知らずのおぼっちゃん	お歳暮 おせいぼのギフト選び	祈願 合格きがんのお札	皆無 能楽についての知識はかいむだ
(1440)	(1438)	(1436)	(1434)	(1432)	(1430)	(1428)	(1426)	(1424)	(1422)
牙 きばをむくライオン	地殻 ちかく変動を観測する	管轄 郵便をかんかつしていたていしんしょう 通信省	湖畔 こはんの美しい風景	離す ボールから目をはなす	塗装 屋根のとそうを職人さんにたのむ 頼む	丁寧 ていねいな対応	老婆心 ろうばしんから言わせてもらえば	門扉 もんぴを閉ざす	霧 きりのかかった林

— 部を漢字（送りがない場合）は送りがないも）になおし横に書きなさい。

(1459)	(1457)	(1455)	(1453)	(1451)	(1449)	(1447)	(1445)	(1443)	(1441)
汚く 罵る	麻 通気性の良いあさのシャツ	翼 つばさを広げ飛び立つ	徴 丙 ちよう兵検査でへい種の判定	抜かりなく ぬかりなく準備する	透かして 光にすかして見る	沢 さわの水で手を洗う	浸る 感傷的な気分にあひたる	慈しむ わが子のようにいつくしむ	塞がらない あいた口がふさがらない
(1460)	(1458)	(1456)	(1454)	(1452)	(1450)	(1448)	(1446)	(1444)	(1442)
草履 脱ぐ	冶金 やきんや製鉄技術の発達	耗弱 犯行時は心神こうじゃくの状態だった	乏しい 天然資源のとぼしい国	忙しい 紛れて いそがしいほうが気がまぎれていい	添う 入院する子どもに付きそう	徹宵 翌日まで引き続きでつしょう勤務した	壁 舷 岸へきにげん側 <small>そく</small> を付ける	挟む メモをはさむクリップ	福翁 ふくおう自伝

— 部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1479)	(1477)	(1475)	(1473)	(1471)	(1469)	(1467)	(1465)	(1463)	(1461)
汗 あせをぬぐう 拭う	繭 蚕のまゆから生糸を作る	玄人 くろうと筋からの評価が高い	玄関 片隅 げんかんのかたすみにおいておく	凶悪犯 惨殺 きょうあくはんにごんさつされる	将棋盤 香車 駒 しょうぎばんの上のきょうしゃのこま	靴擦れ かかとのくつずれが痛い	古利 晩秋のこさつめぐり	忌避剤 ハトよけのきひざい	廃り はやりすたりに左右されない服
(1480)	(1478)	(1476)	(1474)	(1472)	(1470)	(1468)	(1466)	(1464)	(1462)
妖しい あやしい光を放つ宝石	謡初め 能楽堂の新春うたいぞめ	出藍 誉れ しゅつらんのはまれ	慌てて 連絡 あわててれんらくする	滋賀 しが県	拒む 要求をこばむ	軒 コンビニが二けんある	欠陥 商品にけっかんが見つかる	換わる 土地が金にかわる	堪えない 喜びにたえない

— 部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1499)	(1497)	(1495)	(1493)	(1491)	(1489)	(1487)	(1485)	(1483)	(1481)
穂状 咲く	甚だ	浄瑠璃	付随 倫理	畳 敷き	戸棚 戻す	失恋 癒える	倣って	卑しめる	沖積層 地盤
小さい花がすいじょうにさく薬草	はなはだ残念だ	人形じょうりの公演	遺伝子研究にふずいするりんり問題	たたみをしきつめた和室	コップをとだなへもどす	しつれんの傷がはいえる	父にならって飛行士の道に進む	自らをいやしめる行い	ちゅうせきそうのじばん強度を確かめる
(1500)	(1498)	(1496)	(1494)	(1492)	(1490)	(1488)	(1486)	(1484)	(1482)
桑	爽快	基礎	淡い	誰 羨む	蛇口 漏れる	一粒	眠る	応援 振る	二十歳 迎えて
熟したくわの実でジャムを作る	そうかいな気分	英語の文法をきそから学ぶ	あわいピンク色のマニキュア	だれもがうらやむ美人	しめたじやくちから水がもれる	キャラメルをひとつぶ口に入れる	ベッドでねむる男の子	おうえん合戦で旗をふる	はたちをむかえての心境

―部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1519)	(1517)	(1515)	(1513)	(1511)	(1509)	(1507)	(1505)	(1503)	(1501)
空欄 埋めて	磨いて	凡例	飽かして	憤り	哺乳瓶 煮沸	煮物 腐らす	忍び	鎮める	藻
くうらんをうめて熟語を作る問題	銀食器をみがいて手入れする	辞書の記号の意味をはんれいで調べる	金にあかして美術品を収集する	不正な取引にいきどおりを覚える	ほにゆうびんをしゃふつ消毒する	食べ残しのものをくさらす	しのび足で部屋を出る	暴動をしずめる	川に大量のものが発生する
(1520)	(1518)	(1516)	(1514)	(1512)	(1510)	(1508)	(1506)	(1504)	(1502)
恩賜	侍従	諮って	行脚	不吉	及び	丘 洞窟	掘る	熊 鈴	丸裸
天皇陛下からおんしのたばこをいただく	天皇陛下のじじゅうを務める	理事会にはかって決める	全国をあんぎやする	ふきつな予感がする	制度および組織の見直し	おかの中腹にあるどうくつ	トンネルをほる	くまよけのすずをつけて山に入る	個人情報がるまるはだかになる

— 部を漢字（送りがない場合は送りがないも）になおし横に書きなさい。

(1539)	(1537)	(1535)	(1533)	(1531)	(1529)	(1527)	(1525)	(1523)	(1521)
憩い いこいのひととき	真剣 聴く コンサートで演奏をしんげんにきく	澄ました すました顔で答える	曾祖父 そうそふが亡くなる	疎い おしゃれにうとい兄	振動 車体がたがたとしんどうする	寝かす 子どもをねかす	執筆 記事をしっぴつする	怨恨 えんこんによる殺人	煙たがる 上司をけむたがる
(1540)	(1538)	(1536)	(1534)	(1532)	(1530)	(1528)	(1526)	(1524)	(1522)
闘う 原因不明の病とたたかう	絡める パスタにソースをからめる	溶かす 水に砂糖をとかす	揺るぎない ゆるぎない信念	抹消 登録をまっしょうする	謀反 明智光秀がおほんを起こした	描く 趣味 絵をかくのがしゅみだ	眉毛 まゆげが太い男性	地下茎 地盤 竹のちかけいが広がるじばん	携え 仲間と手をたずさえ共に歩む

——部を漢字(送りがない場合)は送りがないも)になおし横に書きなさい。

(1559)	(1557)	(1555)	(1553)	(1551)	(1549)	(1547)	(1545)	(1543)	(1541)
隣 となりの家の庭	上棟 棟札 じょうとう式におなふだを取り付ける	拍子 転んだひょうしに頭を打つ	牙城 迫る 敵のがじょうにせまる	北岳 南アルプスの北だけに登る	鶏 にわとりが卵を産む	衣鉢 継ぐ いはつをつぐ	杯 息子とさかずきを交わす	悩む 卒業後の進路になやむ	剥がれる 化けの皮がはがれる
(1560)	(1558)	(1556)	(1554)	(1552)	(1550)	(1548)	(1546)	(1544)	(1542)
焦って あせて失敗する	硫黄 採掘 いおうをさいくつする	退屈 紛らす たいくつをまぎらす	粗野 振る舞い そやなふるまい	遡上 サケが川をそじょうする	代替案 問題解決のためのだいたいあんを出す	眉間 みけんにしわを寄せる	陥れる 卑怯 ライバルをおとし入れるひきょうな手口	朽ちた くちたつり橋	曆 百済 <small>くだら</small> より日本にこよみが伝来した

——部を漢字(送りがない場合)は送りがないも)になおし横に書きなさい。

(1579)	(1577)	(1575)	(1573)	(1571)	(1569)	(1567)	(1565)	(1563)	(1561)
剥奪 ドーピングでメダルをはくだつされる	伯父(叔父) 伯母(叔母) おじとおばが出席する	粹 いきな計らい	自刃 じじんして果てる	冥利 尽きる 男みょうりにつきる	濃霧 のうむのため国内便が欠航する	巧妙 こうみょうな手口	勧める 団体への加入をすすめる	貫く 信念をつらぬく	換える 小切手を現金にかえる
(1580)	(1578)	(1576)	(1574)	(1572)	(1570)	(1568)	(1566)	(1564)	(1562)
煙る 雨にけむる街	亜熱帯 異常気象と日本のあねったい化	繭糸 繊維 けんしを用いたせんい製品	契る 将来も変わらぬ友情をちぎる	駆使 最新技術をくしする	吟味 よくぎんみした品	畏れ 信仰 神をおそれ敬うしんこう心	緩い くつがゆるい	籠城 降伏 一か月のろうじょうの後、こうふくする	窯業 レンガ製造のようぎょうを営む

―部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1599)	(1597)	(1595)	(1593)	(1591)	(1589)	(1587)	(1585)	(1583)	(1581)
沸かす やかんで湯をわかす	琴 販売	胸襟 きょうきんを開いて語り合う	仰天 ぎょうてんして口がきけなくなる	窮まる 進退きわまる	貫通 トンネルがかんつうする	発汗 サウナスーツのはっかん作用	蚊帳 かやの外に追いやる	乙女心 ゆれるおとめごころ	名誉 汚す 行為 めいよをけがすこうい
(1600)	(1598)	(1596)	(1594)	(1592)	(1590)	(1588)	(1586)	(1584)	(1582)
疎ましく ライバルをうとましく思う	畳 替わり	弾く ピアノをひく	切れ端 ノートの切れはし	容姿端麗 ようしたんれいな女性	腕章 社名の入ったわんしょうをつける	予鈴 よれいが鳴ったので教室に入る	隣(り) となり合って座る	一房 ひとふさのぶどう	崩す バランスをくずす

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1619)	(1617)	(1615)	(1613)	(1611)	(1609)	(1607)	(1605)	(1603)	(1601)
殖やす 安定的に資産をふやす	欠如 危機感がけつじよしている	錦秋 紅葉が美しいきんしゅうの古都	暁天 ぎょうてんの星のごとし	仰せ おおせの通りに従う	卓越 驚嘆 たくえつした技術にきょうたんする	端正な眉目 たんせいなびもく	爪先 たんすの角につまさきをぶつける	宮廷 伺候 きゅうていにしこうする	駆け抜ける ぜん力でかけぬける
(1620)	(1618)	(1616)	(1614)	(1612)	(1610)	(1608)	(1606)	(1604)	(1602)
年齢 ねんれいをたずねる	減ぼす ギャンブルで身をほろぼす	相撲 すもうを取る	謀る 暗殺をはかる	優雅 舞 ゆうがなまいを見せる	浮気 うわきがばれる	溺れる 酒におぼれる	響く 安普請 足音がひびくやすぶしんのアパート	炊事 薪炭 すいじ用に使うしんたん	侵す 土地の所有権をおかす

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1639)	(1637)	(1635)	(1633)	(1631)	(1629)	(1627)	(1625)	(1623)	(1621)
木枯らし こがらしが ふく寒い夜 吹く	江湖 広くこうこ に問いかけ る	畳む 新聞を折り たたむ	井戸 いどの水を くむ	浮上 快勝して首 位にふじよ うする	唐草 風呂敷 からくさ模 様のふるし き	凍る 池の水がこ おる	稲作 アメリカの 大規模ない なさく	藤 満開のふじ の花	恋しい 温泉のこい しい季節
(1640)	(1638)	(1636)	(1634)	(1632)	(1630)	(1628)	(1626)	(1624)	(1622)
未曾有 みぞうの大 災害	湿す 一筆しめす	断崖 高さ三十五 メートルの だんがい	鍋蓋 なべにふた をする	均衡 勢力がきん こうした状 態	陰り 人気にかげ りが見えは じめる	懐 思わぬ臨時 収入でふと ころが暖か い	隔てた 川をへだて た向こう側	詰んで あと一手で つんでしま う	締める ネクタイを しめる

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1659)	(1657)	(1655)	(1653)	(1651)	(1649)	(1647)	(1645)	(1643)	(1641)
唯々諾々 いいたくたくとして従う	研磨 宝石をけんまする機械	埋(も)れ 古材やうもれ木で作った家具	殿 〇〇株式会社 人事部長どの	愁い 沈んだ うれしいにしずんだ顔	滑稽 こっけいなしぐさ	洞穴 逃げ あわててほらあなへにげこむ	理不尽 りふじんな要求	渋い しぶいお茶	踏襲 前例をとうしゅうする
(1660)	(1658)	(1656)	(1654)	(1652)	(1650)	(1648)	(1646)	(1644)	(1642)
滑らか なめらかな動き	懐いた よくなついた子犬	香華 こうげを手向ける	登山靴 製靴 とざんぐつ専門のせいかメーカー	詠嘆 夕景の素晴らしさにえいたんする	御霊 先祖のみたまをまつる	裂け テント生地のさけ目を補修する	陵 大正天皇がねむる多摩 ^{たまの} みささぎ	兵糧 尽きる 城のひょうろうがつきる	湧出量 温泉のゆうしゅつりょう

—— 部を漢字（送りがないがある場合は送りがないも）になおし横に書きなさい。

(1679)	(1677)	(1675)	(1673)	(1671)	(1669)	(1667)	(1665)	(1663)	(1661)
盾 法律をたてにとる	懐かしさ 潤む なつかしさに思わず目がうるむ	裂いて 古布をさいて布ぞうりを作る	伸縮 ポールがしんしゆくする収納ラック	踊り 振り おどりのふり付けを覚える	水稻 すいとうと小麦の二毛作	踏まえ 前回の議論をふまえ修正する	潤沢 じゆんたくな資金	寂 せきとして声なし	煮やす 業をにやす
(1680)	(1678)	(1676)	(1674)	(1672)	(1670)	(1668)	(1666)	(1664)	(1662)
匹 渡る 二ひきの犬が橋をわたる	鎮まる 火の手がしずまる	爪 癖 つめをかむくせ	弾 ピストルにたまをこめる	憎しみ 激しいにくしみを感じる	桑園 収穫 桑 そうえんでしゅうかくしたくわの葉	振るわない 成績がふるわない	伸べる 救いの手をのべる	お巡りさん おまわりさんにあいさつする	渋柿 しぶがきのおいしい食べ方

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1700)	(1691)	(1689)	(1687)	(1685)	(1683)	(1681)
釣り 釣果	カジキつり大会でちようかを競う 国璽 押された	虞 誤解を招くおそれがある	憎い 心にくい演出	謡われる 謡曲	溶く かたくり粉を水でとく	上昇 抑える 物価じようしようをおさえる

Blank area for writing the answer, consisting of multiple horizontal dashed lines.